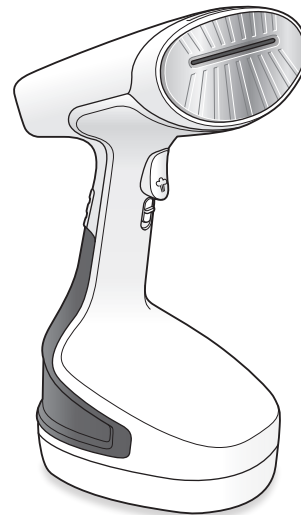


ティファール 衣類スチーマー

アクセススチーム ホワイト

DT8110J0

9100033906-02



目次

安全上のご注意	2
各部の名前とはたらき	7
使用できる衣類について	8
スチームの量を変える	8
ヘッドカバー・ブラシの着脱方法	9
使い方	10
使い終わったら	14
お手入れ	15
保管方法	15
故障かなと思ったら	15
仕様	17

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072



ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター







※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。


 警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容


各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。


 発火注意	 強制または指示	 分解禁止
 禁止行為	 接触禁止	 電源プラグをコンセントから抜く


警告

-  **電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する**
間違った電圧への接続は、製品に損害を与える可能性があり、保証は無効となります。

-  **濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない**
感電の恐れがあります。

-  **使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**
ショートや発火する恐れがあります。

-  **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない**
発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

-  **子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない**
やけど・感電・けがをすることがあります。

コンセントについて

- **単独でコンセントを使用する**
- **2口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する**
- **延長コードを使用する際は、定格 15A のものに単独で使用する**
コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- **電源プラグをコンセントに差し込んでいるときは、そばを離れない。とくに小さなお子様がいるときは注意する**
やけどやけがの原因になります。

- **子供が製品で遊ばないように注意する**
やけどやけがの原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意 (続き)



本機器は安全に責任を有する人物が本機器の使用について監督または適切な指示を与えないかぎり、身体的、感覚的または精神的に低下している（子供を含む）、および経験または知識を持たない人物による使用をしない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



注意



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。

万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない

危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。



本体を水につけたり、水をかけたりしない

製品や電源コードの近くに熱器具やとがったものを近づけない

思わぬ事故の原因になります。

電源コードを束ねたまま使用しない

感電・発火の原因になります。



お手入れ時は、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因になります。



高温部に電源コードが触れないようにする

使い終わったあとは、電源プラグをコンセントから抜き、保管する前に完全に冷ましてください。また、コードはゆるく巻いて保管してください。

ヘッドカバー・ブラシを取り付ける / 取りはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなう

やけどの原因になります。



高温部（スチームヘッドなど）には手を触れない

やけどのおそれがあります。

熱いスチームに触れない


やけどの原因になります。

安全上のご注意 (続き)

 当社指定以外の部品を取り付けて使用しない
火災や感電、やけどの原因になります。

水タンクに異物を入れない
故障、火災の原因になります。

 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、
電源をオフにする

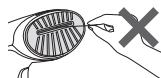
 本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。
※ 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。

お願い

スチームヘッド内部にピンや針金を入れない
てください。

故障の原因になります。



コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけて
ください。皮革製品などには使用しないでください。

衣類を傷める原因になります。

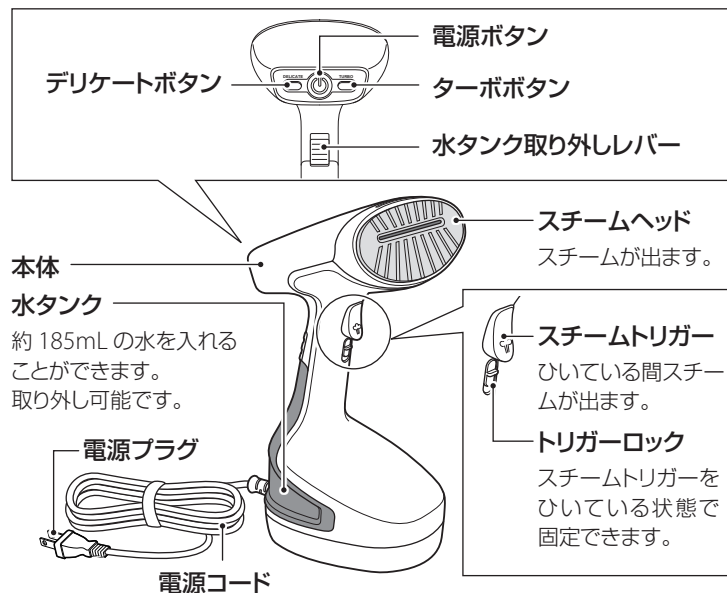
目立たない所にためしがけをしてからご使用ください。

特にご注意

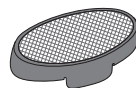
ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミア、毛皮、正絹、
ジョーゼットなどの特殊加工品や高級品など

本製品は必ず屋内で使用してください。

各部の名前とはたらき



付属品



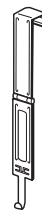
ヘッドカバー

シルクやカシミアなどの衣類に使用する際に、スチームヘッドに取り付けて使用します。



ブラシ

より毛足が長い、厚手の衣類に使用する際に、ヘッドカバーのかわりにスチームヘッドに取り付けて使用します。



ドアフック

ドアにかけて使用します。

使用できる衣類について

必ず衣類に表示されている絵表示に従ってください。また、「スチーム禁止」などの表示がある衣類には使用できません。

衣類に絵表示がない場合は、下の表を目安にしてください。

革・合成（人工）皮革	×	アクリル・ナイロン	△
ベルベット	△	麻（混紡・100%）*	○
ウール・カシミア	△	綿	○
シルク（絹）	△	レーヨン・ポリエステル	○

○ スチームヘッドを衣類に当てて使用できます。

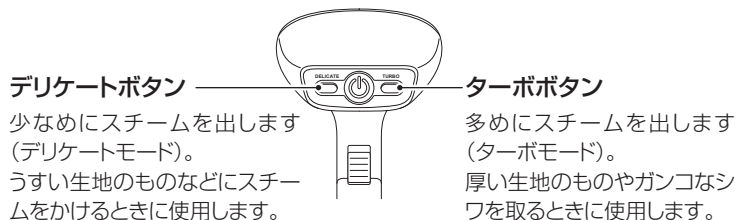
△ スチームヘッドを衣類から離して、スチームのみで使用できます。

× 使用できません。

※ 麻の種類によってシワが伸びにくい場合があります。

スチームの量を変える

スチームをあてる素材によって、スチームの量を変えることができます。デリケートボタン、またはターボボタンを押して、モードを切り替えてください。選択中のモードは点灯してお知らせします。



ヘッドカバー・ブラシの着脱方法



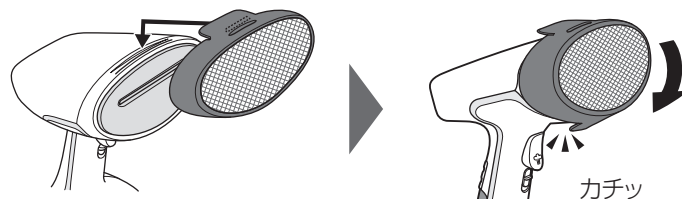
注意

- ヘッドカバー・ブラシは、スチームヘッドが熱い状態で取り付け / 取りはずしをしないでください。やけどの原因になります。
- ヘッドカバー・ブラシの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後、1時間以上経過してからおこなってください。

ヘッドカバー・ブラシの取り付け方法

ヘッドカバー・ブラシ内側のくぼみ本体の突起に合わせ、カチツと音がするまで、軽く押しして取り付けます。

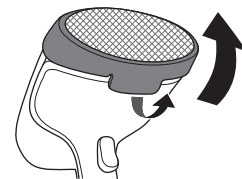
取り付けは、加熱する前におこなってください。



ヘッドカバー・ブラシの取りはずし方法

ヘッドカバー・ブラシ下側のタブを引きながら、上に持ち上げて取りはずします。

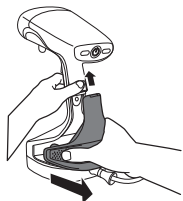
取りはずしは、電源を切った後、1時間以上経過してからおこなってください。



1 水タンクに水を入れます。

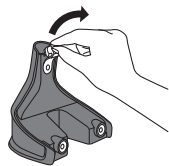
- ① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。
- ④ 水タンクに水を入れ、注水口カバーをしっかりと閉めます。

- ② 水タンク取り外しレバーを押し上げながら水タンクを本体からはずします。



水タンク容量は約 185mL です。入れすぎてこぼさないようご注意ください。

- ③ 注水口カバーを開けます。



- ⑤ 水タンクを本体にセットします。



注意

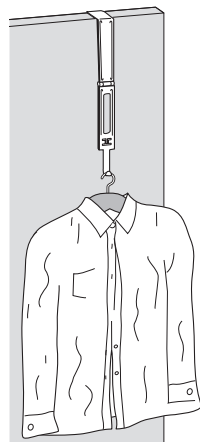
- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されています。
- 衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟水、冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、雨水、煮沸／濾過された水、ミネラルウォーター等の水はご使用にならないでください。水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがあります。

2 ドアハンガーをドアにセットし、衣類をかけます。



注意

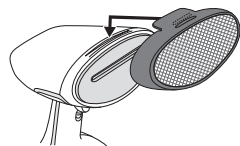
- 安全のために、高さが2メートルより高いドアにはドアフックを使用しないでください。
- 加熱、変形、変色、衣類への色うつりなどの可能性がありますので、熱に弱い素材のハンガーは使用しないでください。
- ドアの加熱、変形、変色にはご注意ください。



3 スチームヘッドに汚れがないことを確認してからヘッドカバーまたはブラシをセットします。

(装着しなくても使用できます)

取り付け方法は9ページをご参照ください。

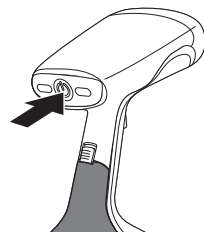


4 電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。

5 電源ボタンを押して電源をオンにします。

電源ランプが点滅します。

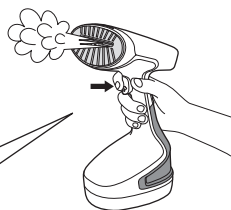
点滅が点灯に変わったら、お使いいただけます(約40秒ほどかかります)。




6 電源ランプが点灯したら、 スチームトリガーをひいて衣類にスチームをかけます。

スチームはスチームトリガーをひいているときのみ出ます。

持ち運びの際は、右図のようにしっかりと持ってください。



トリガーロックを  マークの位置にすると、スチームを出したままの状態でも固定できます。

- 使い始めは衣類にあてる前に数秒間スチームを出してほこりなどを排出してください。
- 使い始めはスチームが出てくるまで少し時間がかかることがあります。スチームが出るまで、しばらくスチームトリガーをひいたままにしてください。
- 本体はなるべく垂直になるように持ってください。
- 使用中に水がなくなったら、水タンクを外して水を入れてください。
- 水を入れるときは、トリガーロックを解除し、トリガーを元の位置に戻してください。

えりのボタンはとめる



片手で衣類の裾を引っ張りながら、スチームヘッドを衣類の上から下の方へ当て、シワを伸ばします。

お願い

8 ページを参考に、素材によってはスチームヘッドを衣類から離してスチームのみで使用してください。



注意

- 衣類を身につけたまま、スチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。
- 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。
- スチームヘッドの真下に体（足や太もも）やペットがこないように注意してください。使用中にスチームがかかったり、万が一湯滴が漏れるとやけどをする恐れがあります。
- スチームヘッドから湯滴が出る場合は、ヘッドカバーを使用してください。
- 水漏れが多いときには3分以上連続してスチームを出し続けないでください。湯滴が漏れてやけどの原因になります。



ヒント

- 生地によっては裏からスチームを当てるとシワが伸びやすいものもあります。
- 厚めの生地は長めにスチームを当ててください。

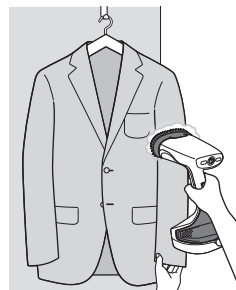
■ 付属のブラシを使うとき

繊維の方向にそってやさしくブラシをかけます。



注意

- ブラシは、スチームヘッドが熱い状態で取り付けたり、取りはずしたりしないでください。やけどの原因になります。
- ヘッドカバー・ブラシの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後、1時間以上経過してからおこなってください。



■ スタンバイモード

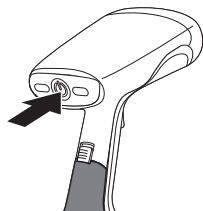
使用せずに8分間経つと、電源ランプが点滅し、スタンバイモードになります。解除するには、電源ボタンを押します。点滅が点灯に変わったら、お使いいただけます。

使い終わったら

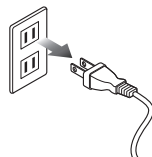
お願い 必ず水タンクから水を捨ててから保管してください。水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがあります。

1 電源ボタンを3秒間押し、電源をオフにします。

電源ランプが消灯します。

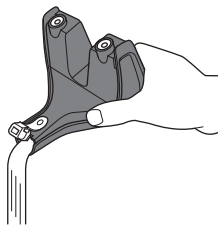


2 コンセントから電源プラグを抜きます。



3 水タンクの水を捨てます。

使用後は毎回水を捨ててください。



！ 注意 使用後しばらくはスチームヘッドの蒸気口は熱くなっています。直接手で触れないようご注意ください。

お手入れ

本体のお手入れ

- お願い**
- 電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
 - 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

やわらかい布で拭いてください。
がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



！ 注意 水道水でじかに本体を洗わないでください。

保管方法

安定した場所に立てて保管してください。

故障かなと思ったら

状況 スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
電源がオンになっていない／十分な温度になる前にスチームトリガーをひいた。	電源ボタンを押して電源をオンにしたあと、電源ランプが点灯するまで約40秒お待ちください。
水タンクに水が入っていない。	水タンクに水を入れてください。
使い始めなので、スチームが出るまで時間がかかっている。	スチームが出てくるまでしばらくスチームトリガーをひいたままにしてください。

故障かなと思ったら (続き)

状況 水が漏れる

考えられる原因	対処方法
十分な温度になる前にスチームトリガーをひいた。	電源ランプが点灯してからスチームトリガーをひいてください。
水タンクに水を入れすぎた。	水はあふれない程度に入れてください。
水タンクを空にせず保管した。	使用後は、14 ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、保管してください。
注水口カバーをしっかりと閉めていない。	注水口カバーはしっかりと閉めてください。

状況 スチームが止まらない

考えられる原因	対処方法
トリガーロックがかかっている。	トリガーロックを解除の位置 (🔓 の位置) にしてください。→ 12 ページ

状況 本体から「かたかた」音がする。

考えられる原因	対処方法
使い始めもしくは水タンクの水が少ない	水タンクに水が十分入っている場合はスチームが出てくるまでしばらくスチームトリガーをひいたままにしてください。使用中に音がしたら水タンクに水を入れてください。

仕様

製品名	アクセススチーム ホワイト
電源	100V 50-60Hz
定格消費電力	1200W
温度ヒューズ	216℃
サイズ (幅×奥行×高さ)	約 13cm x 約 14.1cm x 約 28.3cm (コード部分含まず)
重量	約 1220g (水タンクが空のとき・コード部分含む)
コード長さ	約 3m
タンク注水量	約 185mL

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

Made in China

愛情点検

●長年ご使用のガーメントスチーマーの点検を!



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- スチームヘッドや本体が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。● その他の異常・故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。